

国語科(言語文化)学習指導案

指導者

- 1 履修単位数 2単位
2 実施日時 令和 4年 月 日() 第 時限
3 学 級 ○HR
4 使用教科書 言語文化(大修館)
5 単元(題材)名 描写されていない事実を推論し、作品の構成について自分の考えをもつ
(『伊勢物語』『芥川』)

6 単元設定の理由

(1) 生徒観

生徒は、意欲的に学習に取り組むことができ、全体として、既習知識を活かした探究や話し合い活動を好む傾向にある。これまでに「兎のそら寝」や助動詞までの文法学習を終えているが、物語の読解の経験が少なく、書かれている事実以上の事柄を想像することに課題がある。また、教材文を無批判に受け入れてしまい、作品の構成について自らの考えをもつという観点がない状況である。

(2) 教材観

『伊勢物語』は、百二十五の章段からなる作品であるが、各段を短編物語として読むことができ、文体が平易で古文読解の経験が浅い学習者にも親しみやすい教材である。本教材である「芥川」の章段は、恋焦がれた女を盗み出したものの道中で女を鬼に食われてしまい、悲しみに暮れる男の心情が和歌に集約されている。また、和歌による心情把握だけでなく、事実が暗喩的に描かれていることから、前後半に分割することで推論に触れることにも適した教材である。

(3) 指導観

物語の中の表現が比喩であることを読み解く活動を通して、登場人物が生きた時代の文化に触れるとともに、書かれている内容を読み取るだけでなく、解釈によって事実を推論し、ものの見方や考え方を深める手法を学ばせたい。また、物語の後半に事実を説明する部分があることに着目させ、その有無によって物語の印象がどう変わるかを討論することで、構成について批評する力を養いたい。

7 単元の目標

- (1) 古典の世界に親しむために、作品や文章の歴史的・文化的背景を理解することができる。
[知識及び技能](2)イ
(2) 作品の内容や解釈を踏まえ、自分のものの見方、感じ方、考え方を深め、我が国の言語文化について自分の考えをもつことができる。
[思考力・判断力・表現力等]B(1)オ
(3) 言葉がもつ価値への認識を深めるとともに、生涯にわたって読書に親しみ自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚をもち、言葉を通して他者や社会に関わろうとする。[学びに向かう力、人間性等]

8 本単元における言語活動

作品の内容や構成について、タブレット端末で意見を共有しながら批評する活動。

[思考力・判断力・表現力等]B 読むこと(2)イ

9 単元の評価規準

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
①古典の世界に親しむために、作品や文章の歴史的・文化的背景を理解している。 (2)イ	①読むことにおいて、作品の内容や解釈を踏まえ、自分のものの見方、感じ方、考え方を深め、我が国の言語文化について自分の考えをもっている。 (B(1)オ)	①これまでの学習を生かしながら積極的に自身の意見を記述するとともに、他者が着目した論拠を吟味し、自分のものの見方、感じ方、考え方を深め、我が国の言語文化について自分の考えをもとうとしている。

10 指導と評価の計画(全 4 時間)

次	学 習 活 動	評価規準・評価方法
第1次 (2時間)	- 音読によって物語の展開を概観する。 - 文法事項を確認しながら第一段落を現代語訳し読解する。 - 前時の復習をし、文法事項を確認しながら第二・三段落を現代語訳し読解する。 - 作品に登場する和歌を訳し、男の心情を理解する。	[知識・技能]① 「記述の点検」
第2次 (1時間)	第三段落までの本文の記述をもとに、登場人物の身分や起こった出来事について推論する。(本時)	[思考・判断・表現]① 「記述の点検」
第3次 (1時間)	- 第四段落の現代語訳を確認し、その有無によって変化する物語の印象について批評しあう。 - 作品に登場する和歌を解釈し、本文との関係を理解する。 - 周辺知識を用いながら登場人物の関係を理解する。	[主体的に学習に取り組む態度]① 「記述の確認」

11 本時の目標

記述の内容をもとに、書かれていない事実を推論することができる。

12 本時の展開

時間	学習活動	指導上の留意点	学習活動における 具体的評価規準	評価方法
導入 5分	- 前時までの復習を行う。 - 本時の目標を確認する。 「記述の内容をもとに、書かれていない事実を推論しよう。」	男女のおかれた状況とその結末を確認させる。		
展開 40分	① 本文の記述をもとに男女の身分を推論する。	- 推論の手がかりとなる箇所には傍線を引かせ、困難な学習者には、現代語訳を提示する。 - 男女の身分を比較させる。		
	② 「鬼に食べられる」という表現が指している内容をグループで推論する。 (MetaMoji Classroom) ③ 推論した内容を発表しあう。 (MetaMoji Classroom)	「あばらなる倉」における男の行動をもとに考えるよう指示する。	[思考・判断・表現] 男が戸口を守っていたことや駆け落ちの途中であるという登場人物を取り巻く状況から推論している。	「記述の点検」① ・ワークシート (MetaMoji Classroom)
まとめ 5分	本時の目標を達成できたか確認し、次時に繋げる。	鬼の正体を探る作業が推論であることを確認させる。		

13 評価及び指導の例

「十分満足できる」と判断される状況	- 当時の文化を理解した上で、当時の価値観に立って男女の身分を推論できる。 「鬼」の正体が比喩的に表現されている理由を推論し説明できる。
「おおむね満足できる」状況を実現するための具体的な指導・手立て	- 現代語訳を配付し、推論に集中できるようにする。 - 着目すべき事実を電子黒板に投影し、授業が進んでも都度確認できるようにする。